

課題に挑む

技術士のソリューション

[168]

人災リスク

東日本大震災から2年が経過、製造業の天災リスク対応はすっかりとなされるようになったが、最近の国際政治情勢をかんがみると、テロに代表される人災リスクへの対策については、まだまだと私の目にはうつる。

化学工場の場合でい

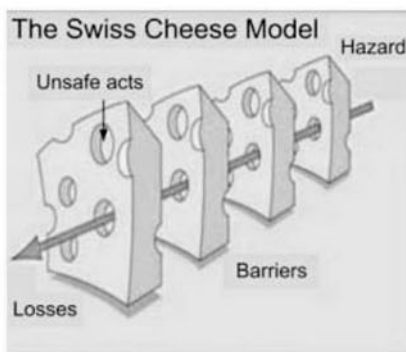


日本技術士会
生物工学部会副部会長

久保 康弘 (生物工学部門)

危機管理 ⑭

化学工場のテロ防止対策



スイスチーズモデル、普段からのテロ防止対策が非常に重要になってくる。

周辺警備念入りに

場内の従業員はもちろん、付近の住民に危害がおよんでしまう。また、化学反応中に人為的に反応制御を乱せば爆発事故に

日々の管理抜け目なく

「化学兵器」となる可能性も

ば、原料や製品自体が危険性の高い化学物質であることも多く、危険物や毒劇物の漏洩、飛散で工

入構管理では入構手段（徒歩、車両など）や入構者の所属に応じ、レベル分けした管理の実施が求められる。一般の来訪者には、約束の有無や物件の確認、面会者の確認、身分証の提示、手荷物チェックなどを行い、訪問先までは必ず付添人が案内する。車両に対しては、突入防止の障害物設置や緊急時の即時ゲート閉鎖システム、敷地内の車両駐車区域の設定や、構内での高速移動防止措置が有効である。

機密保持厳格化

文書・情報セキュリティ対策としては、営業秘密の管理体制と同等の対策を講じるべき。工場

設備内の対策では、外部スタッフについては身分証明バッジの義務づけを徹底する。工場を制御する重要なコントロールルームは、水害などによる損害防止のため2階以

(火曜日に掲載)